

昭和61年度活動報告

近畿六大学春季リーグ戦

◇3月25日住之江球場
神外大 1-4 甲南大
(外)林・村井一芦田
(甲)吉岡一松本
▽三塁打若生・藤尾(甲)

◇3月26日深江球場
甲南大 3-4 神外大
(甲)宮越一松本
(外)林・村井一芦田
▽三塁打藤尾(甲)・鈴木(外)

◇4月5日住之江球場
近大 0-2 甲南大
(近)久野一片岡
(甲)宮越・吉岡一松本
▽三塁打宮越(甲)

◇4月8日
甲南大 5-0 近大
(甲)宮越・吉岡一松本
(近)久野一片岡
▽三塁打稲継(近)

◇4月12日深江球場
和 大 3-1 甲南大
(和)橋爪一谷口
(甲)吉岡一松本
▽三塁打藤尾(甲)

◇4月20日
神商大 5-11 甲南大
(商)菅・松山一小山
(甲)吉岡・宮越一松本
▽三塁打米田(甲)
▽二塁打菅(商)・松本・芝田(甲)

◇4月21日
甲南大 2-0 和 大
(甲)宮越・吉岡一松本
(和)谷口一藤田
▽二塁打橋爪(和)

◇4月26日住之江球場
甲南大 1-0 神商大
(甲)吉岡一松本
(商)菅一小山

◇5月1日住之江球場
大経大 1-2 甲南大
(経)金森一山本
(甲)吉岡一松本
▽二塁打香山(経)

◇5月5日深江球場
甲南大 2-3 大経大
(甲)吉岡一松本
(経)高田・金森一山本
▽二塁打山田(甲)・山本(経)

【表彰選手】
最高殊勲選手 久次米浩三(大経大)
最優秀投手 金森一弘(大経大)
首位打者 橋爪寛(和 大)
最多勝利投手 橋爪寛(和 大)
盗塁王 久次米浩三(大経大)
打点王 金子勝美(大経大)
敢闘選手 菅吉平(神商大)
特別賞 金森一弘(大経大)
橋爪寛(和 大)

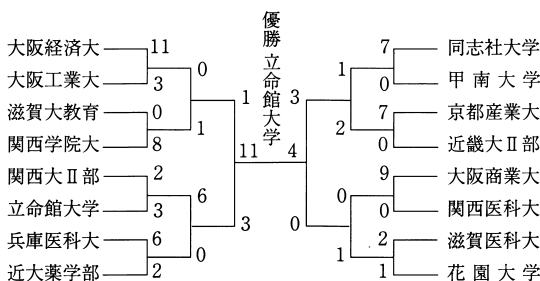
【打撃十傑】
1 橋爪 寛(和) 0.436
2 久次米浩三(経) 0.375
3 金子 勝美(経) 0.375
4 吉岡 敦(外) 0.355
5 藤田 正宏(和) 0.355
6 宮城 健司(甲) 0.300
7 松山 浩(商) 0.297
8 久野 秀明(近) 0.296
9 谷内 祥晃(近) 0.278
10 吉岡 環(甲) 0.272

Table with 7 columns: チーム名, 大経大, 甲南大, 和歌山大, 近畿大, 神外大, 神商大. Rows show match results between teams.

【ベストナイン】
(投) 橋爪 寛(和 大)
(捕) 山本 直人(大経大)
(一) 久次米浩三(大経大)
(二) 松岡 敬(甲南大)
(三) 香山 和磨(大経大)
(遊) 金子 勝美(大経大)
(外1) 吉岡 敦(神外大)
(外2) 藤田 正宏(和 大)
(外3) 宮越 健司(甲南大)

全関西選手権大会兼全国大会出場予選

◇6月3日尼崎記念公園野球場
同 大 7-0 甲南大
8回コールド
(同)平沢・千葉一穂田
(甲)吉岡一松本
▽二塁打平沢(同)・吉岡(甲)



近畿六大学秋季リーグ戦

◇8月26日住之江球場
神外大 103 | 000 | 202 | 8
甲南大 305 | 102 | 00x | 11
(外)村田・村井一芦田
(甲)吉岡・三船一早川
▽三塁打村田(外)
▽二塁打村田・武村・芦田(外)早川(甲)

◇8月30日住之江球場
甲南大 001 | 200 | 002 | 5
神外大 000 | 000 | 001 | 1
(甲)吉岡・三船一早川
(外)村田・村井一芦田
▽三塁打山口(甲)・鈴木・於久(外)
▽二塁打宮越・若生・吉岡(甲)於久(外)

◇9月6日住之江球場
甲南大 022 | 010 | 022 | 9
近 大 010 | 000 | 000 | 1
(甲)吉岡・三船一早川
(近)宮部・中島一天野
▽二塁打吉岡(甲)

◇9月9日住之江球場
和 大 000 | 000 | 200 | 2
甲南大 000 | 000 | 010 | 1
(和)橋爪・谷口(友)
(甲)吉岡一早川
▽三塁打谷口(友)(和)
▽二塁打谷口(友)・面谷(和)芝田(甲)

◇10月16日住之江球場
甲南大 020 | 000 | 001 | 3
和 大 000 | 000 | 004 | 4
(甲)吉岡・宮越一早川
(和)橋爪一谷口(友)
▽三塁打橋爪(和)▽二塁打笹2(和)

◇10月17日住之江球場
神商大 200 | 000 | 000 | 2
甲南大 000 | 000 | 010 | 1
(商)松山一小山
(甲)吉岡一早川

◇10月20日住之江球場
甲南大 001 | 110 | 001 | 4
神商大 310 | 000 | 03x | 7
(甲)吉岡一早川
(商)松山一小山
▽二塁打麻河・井垣・土井(商)

◇10月25日神戸外大グラウンド
近 大 100 | 011 | 003 | 6
甲南大 000 | 001 | 202 | 5
(近)宮部一天野
(甲)西一早川
▽二塁打天野(近)西(甲)

◇10月28日住之江球場
甲南大 020 | 000 | 000 | 2
大経大 000 | 000 | 50x | 5
(甲)吉岡・西一早川
(経)宮川一原(浩)
▽二塁打宮川・原(浩)(経)

◇10月29日住之江球場
大経大 001 | 100 | 5 | 7
甲南大 000 | 000 | 0 | 0
(経)長島一原(浩)
(甲)吉岡一早川
▽三塁打原(敬)(経)7回コールド・ノーヒット・ノーラン

Table with 7 columns: チーム名, 大経大, 神商大, 和歌山大, 近畿大, 甲南大, 神外大. Rows show match results between teams.

【ベストナイン】
(投) 松山 浩(神商大)
(捕) 原 浩二(大経大)
(一) 武村 誠治(神外大)
(二) 山口 恭史(甲南大)
(三) 原 敬芳(大経大)
(遊) 金子 勝美(大経大)
(外1) 小林 宏之(大経大)
(外2) 土井 章弘(神商大)
(外3) 岩島 哲也(大経大)

【打撃十傑】
1 原 浩二(大経大) 0.591
2 原 敬芳(神商大) 0.581
3 松山 浩(神商大) 0.516
4 土井 章弘(神商大) 0.410
5 小林 宏之(大経大) 0.367
6 岩島 哲也(大経大) 0.361
7 麻河 典生(神商大) 0.359
8 金子 勝美(大経大) 0.353
9 安藤 一保(神商大) 0.350
10 芦田 純(神外大) 0.343

【表彰選手】
最高殊勲選手 香山 和磨(大経大)
最優秀投手 宮川 嘉郎(大経大) 防率率 0.818
首位打者 原 浩二(大経大) 打率 0.591
最多勝利投手 松山 浩(神商大) 勝利数 7勝
盗塁王 原 敬芳(大経大) 盗塁数 12個
打点王 金子 勝美(大経大) 打点数 13点
敢闘選手 村井 達也(神外大)
新人王 土井 章弘(神商大)
長島 哲也(大経大)

7回ノーヒットノーラン
(7回コールド参考)

# 全日本大学9ブロック対抗 準硬式野球大会

この9ブロック大会は、甲南大と大経大が中心となって関西代表チームを形成した。引退した松本憲司さんも出場し、本塁打を含め大活躍であった。

1 回戦：関西代表対東北代表

関西	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
東北	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2

橋爪(和)一早川(甲)・松本(甲)  
▽二塁打香山(経)

2 回戦：関西代表対北信越代表

北信越	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
関西	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2

吉岡(甲)一松本(甲)  
▽本塁打松本(甲)  
▽三塁打金子(経)

準決勝：関西代表対東海代表

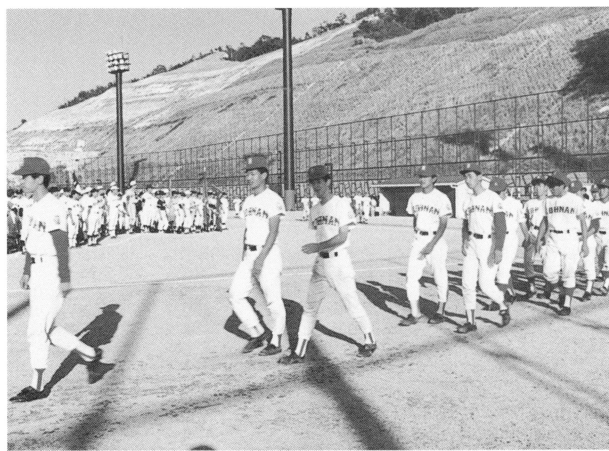
関西	1	0	1	0	0	0	0	1	5	8
東海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(商)松山・橋爪(和)一早川(甲)  
▽本塁打金子(経)  
▽三塁打橋爪(和)

決勝：関西代表対東海代表

関東	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(和)橋爪一早川(甲)



S.61 9ブロック大会開会式



S.61 9ブロック大会(倉敷)

## 「学習院大学定期戦30年史」より

主将 松本 憲司

現在、わが部は近畿六大学準硬式野球連盟に所属しており、通算20回の優勝経験を有し、多くの海外遠征選手も輩出しています。

ところで、準硬式野球といっても多分ほとんどの人が知らないと思います。準硬式野球とは、軟式B号、俗にいうトップボールを使ってやる野球です。

もちろん高校野球のような華やかさはなく、甲子園という目標もありません。その上、神宮のような職業野球的要素は皆無といってよいでしょう。では我々の野球とはいったい何なのでしょう?高校野球のイメージが動であるのに対して、大学野球のイメージはよく静であるといわれます。真っ赤に燃えていたものが静かに青く燃えるのです。

秋のリーグ戦後に行われる学習院との定期戦も今年で30回目を迎えるわけですが、それはクラブの行事としてなくてはならないものの一つになっています。互いに顔を

合わせるには年に1回この時かぎりなのですが、年次が進むにつれ親しさは増し、その一人ひとりの顔になつきさまで感じるようになるのはとても不思議なものです。1年に1回試合をして、コンパで友情をたしかめあう。

(人間の出会いというのは所詮、空間に書いた放物線の接点であるといわれる。甲南と学習院の定期戦はそんな接点の一つだと思う。)そこで互いに野球をやっている大学生という共感を感じ、友情が芽生えればこんな素晴らしい出会いはありません。これからもそういう風な場であってほしいと切に願います。

最後に、近年はリーグ戦のような張り詰めた雰囲気には少し欠けるとは思いますが、戦ってこそこの定期戦の価値はあると思います。和気あいあいというのもいいですが、それだけですましてしまっはいけないと思います。今後、対学習院大学定期戦がますます発展していくことを願ってやみません。